

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	森林保全管理事業費	事業期間	平成 29 ~ 年度	整理番号	05010201
担当部署	産業経済部 農林課	林務係	作成担当者名	鎌倉亮	連絡先
					405

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	04	第4章 住みやすく、働きやすく、訪れてみたい緑のまちづくり
				施策	02	第2節 林業の振興
				細施策		—
				事務事業		—
	予算事業名	森林保全管理事業費			会計コード	001 款 06 項 02 目 01 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市において森林は市土の約4分の3となる面積を占め、その持つ機能は林産材の生産にとどまらず市域の保全、水資源の涵養、保健休養といった多岐にわたっています。これら多面的な機能を有する森林を保全し、もって持続可能な形で継承するために行われる活動のうち、総務的な分野を担う事業です。				
	現状と背景 （どうして）	森林を適切に保全・管理し、その有する多面的機能を発揮することは、市域全体にその便益をもたらすことになるため				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民・滞在者		
		対象 （直接働きかける）	森林保全巡視員、松くい虫監視員といった個人及び林業振興会等の団体並びにみどりの少年団等をはじめとする児童生徒及び事業に関係する市民			
		意図	森林に異常が発生した場合早期発見により対処し、被害が発生していない状態。森林が持つ多面的機能が発揮されている状態			
	手段・方法 （どうやって）	・松くい虫監視作業員、森林保全巡視員には期間を限って活動に応じた賃金を支払い、巡視を行っていただく方法。クマ対策員とは委託契約を結び、捕獲された場合には放獣に係る費用を負担する方法。また林業振興会や治山協会へは負担金を支払い、活動に応じた支援をいただく方法を通じて、目的の実現を図っています。また、森林資源として産出される間伐材の有効利用策として挙げられるペレット材の消費拡大を図り、もって持続可能な森林づくりを推進します。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		松くい虫・森林保全巡視	巡視回数	回	巡視回数(時間) × @813	10
		ペレットストーブ導入	補助対象件数	件	ペレットストーブ導入に対して補助した件数	10
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
森林に松くい虫の被害が出ない		非被害森林面積率	%	全森林面積-被害森林/全森林面積	100	
	県産材から生産されたペレットが消費される	ペレット購入数	kg	ペレットストーブ導入に伴って消費された県産材ペレットの数量	24,000	

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	297,476	3,630,758	3,316,440	5,652,279	5,740,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円		962,000	800,000	800,000	151,000
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	297,476	2,668,758	2,516,440	4,852,279	5,589,000
職員数	人					
正規職員	人	0.01	0.70	0.70	0.60	0.60
嘱託職員	人					
臨時職員	人				0.10	0.10
合計	人	0.01	0.70	0.70	0.70	0.70
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	5.00	65.00	59.00	102.00	189.00
活動指標	巡視回数	目標	10	10	10	10
		実績	10	10	10	10
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	補助対象件数	目標		10	10	10
実績			10	9	10	
達成率	%	—	100.00	90.00	100.00	
成果指標	非被害森林面積率	目標	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	ペレット購入数	目標		16,000	20,000	22,400
実績			21,300	20,600	22,400	23,200
達成率	%	—	133.13	103.00	100.00	100.00

備考 H27年度から予算の構成を変更（H26までの一般経費、一般事業費、森林保全管理事業費を合わせ、森林保全管理事業費とする。（事務事業としては森林保全管理事業、統合型GIS森林所有者情報整備事業、諏訪地域森林づくり・林業振興会負担金事務事業、長野県治山・林道協会負担金事務事業、みどりの少年団育成補助金交付事業、森林組合指導補助金交付事業、森のエネルギー推進事業を統合）そのため職員数の数値も増加

事務事業名	森林保全管理事業費	事業期間	平成	~	年度	整理番号	05010201
担当部署	産業経済部	農林課	林務係	作成担当者名	鎌倉亮	連絡先	405

期	目標	実績	課題
第1期	・ペレットストーブ設置補助募集 ・松くい虫被害対策 ・緑の募金集金依頼 ・公共施設及び新入学児童へ旅禍債の配布	・ペレットストーブ設置補助金を広報にて募集の開始 ・松林監視員及び森林保全推進委員2名の委嘱実施 ・職員が行う松くい虫被害の監視にあたり設備の設置を実施 ・松くい虫監視 異常なし ・緑の募金、緑化木の配布の実施	・緑の募金の限りのない集金方法の検討
第2期	・ペレットストーブ設置補助募集 ・松くい虫被害の監視 ・林業振興ビジョン策定	・ペレットストーブ設置補助申請受付 2件 ・松くい虫監視 異常なし ・林業振興ビジョン策定部会実施 2回	・林業振興ビジョンの策定にあたり、森林所有者や住民の森林離れの解消が課題
第3期	・ペレットストーブ設置補助募集 ・松くい虫被害の監視 ・林業振興ビジョン策定 ・森林整備計画策定	・ペレットストーブ設置補助申請受付 7件 ・松くい虫監視 異常なし ・林業振興ビジョン策定部会実施 2回	・松くい虫被害が塩尻、伊那、北社市まで広がりを見せるなか、諏訪管内にまん延する前に水際で食い止めることが必要
第4期	・ペレットストーブ設置補助募集 ・林業振興ビジョン策定 ・森林整備計画策定	・ペレットストーブ設置補助申請受付 1件 ・林業振興ビジョン策定 ・森林整備計画策定	・林業振興ビジョン及び森林整備計画が策定され、積極的な推進及び運用が課題となる。これをいかに住民に広く周知し目に見える形で推進していくかが課題

事中評価																																											
<p>当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化</p> <p>林業振興ビジョンの新たな策定にあたっては、部会員及びその他多方面から情報収集を行い検討していますが、県の森林税や国の森林環境税の今後の動向が不透明なため、推進に支障を来す可能性が懸念される。</p> <p>新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）</p> <p>県が行う「森のエネルギー推進事業」が今年度をもって終了することを受け、来年度からは、市単独でも設置補助を事業を実施していきたいと考えている。</p> <p>また、森林所有者や住民が森林に対し関心を抱いてもらえるような新規事業</p>	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向</td> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方向</td> <td>性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>コスト</td> <td>投入</td> <td>の方向性</td> </tr> </table>	今	成果	拡充		②	⑤	⑦	後	の	現状維持		③	⑥	⑨	の	方向	縮小		④	⑧	⑩	方向	性	休廃止	①				性				皆減	縮小	現状維持					コスト	投入	の方向性
今	成果	拡充		②	⑤	⑦																																					
後	の	現状維持		③	⑥	⑨																																					
の	方向	縮小		④	⑧	⑩																																					
方向	性	休廃止	①																																								
性				皆減	縮小	現状維持																																					
				コスト	投入	の方向性																																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					レ	3	B
チェック																	
課題	<p>保全管理巡視員と連携を密に行い、被害防止に努めること。また地元産間伐材有効利用法の一つとして取り組んでいる森のエネルギー推進事業については、後継事業の県の進める方針を理解し市として要望する台数確保</p> <p>新たに策定した林業振興ビジョン及び森林整備計画の住民周知と推進</p>															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	A
																前年度評価シート整理番号	04020216

総合評価	細施策評価前					細施策評価後						
	結果	松くい虫等からの被害を防止するため、予防保全の面からも必要な事業です。また、森林資源の有効活用法として多々ある中、薪等に比較して周辺に与える影響が低いと言われているペレット消費を促進する意味でも必要な事業。						松くい虫等からの被害を防止するため、予防保全の面からも必要な事業です。また、森林資源の有効活用法として多々ある中、薪等に比較して周辺に与える影響が低いと言われているペレット消費を促進する意味でも必要な事業。				
改革・改善策	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性						

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後							
	今	成果	拡充		②	⑤	レ	⑦	成果	拡充			
後	の	現状維持		③	⑥		⑨	の	現状維持			レ	
方向	性	縮小		④	⑧		⑩	方向	性	縮小			
性		休廃止	①					性		休廃止			
				皆減	縮小	現状維持	拡大			皆減	縮小	現状維持	拡大
				コスト	投入	の方向性				コスト	投入	の方向性	
改革・改善策	保全管理巡視員と連携を密に行い、被害防止に努める。また、ペレット消費を通じて間伐材の有効利用を図る上でも、ペレットストーブの設置補助は継続して取組む。					保全管理巡視員と連携を密に行い、被害防止に努める。また、ペレット消費を通じて間伐材の有効利用を図る上でも、ペレットストーブの設置補助は継続して取組む。							

最終評価年月日	平成30年4月11日	最終評価責任者	農林課長	宮坂智一
---------	------------	---------	------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	林道維持管理事業	事業期間	平成 29 ~ 30 年度	整理番号	05010202	
担当部署	産業経済部 農林課	林務係	作成担当者名	梯 泰 弘	連絡先	405

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	04	第4章 住みやすく、働きやすく、訪れてみたい緑のまちづくり
				施策	02	第2節 林業の振興
				細施策	02	森林づくりや木材搬出等のための基盤整備
				事務事業	02	林道維持管理事業
	予算事業名	林道管理事業費			会計コード	001 款 06 項 02 目 02 事業 01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	森林施業を効率的に実施上で林道及び作業道は重要な基盤の一つです。こうした重要な基盤である林道と、作業道の維持管理を行うための事務事業です				
	現状と背景 (どうして)	市内山林に設置されている林道及び作業道は、冬期間の雪、また梅雨の長雨、及び台風などで荒れることがあります。これら林道としての機能の維持管理は、本来市で行うべきですが、現状は人的・物的資源が十分でないことから、受益者である地元の財産区及び林野組合をお願いして実施しています				
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 (誰のために)	財産区及び林野利用組合			
		対象 (直接働きかける)	林道を管理して頂いている、財産区及び林野利用組合			
	意図 (どんな状態にしたいか)	林道の草刈、碎石敷き、均し等が行われ、林道として必要な機能が維持されている状態				
	手段・方法 (どうやって)	林道は、本来その林道周辺の山林の整備のために開設されている施設です。こうした山林を所有し、主たる受益者である地元財産区、林野組合が実施する整備に対し、重機借上げの費用負担、必要な碎石等の消耗品の支給により、事業を実施しています				
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		荒廃林道の把握	林道現場確認調査	回	月2回	14
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		荒廃林道の予防、復旧	予防、復旧路線	本	必要数	15

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	1,103,436	2,658,268	1,380,509	1,782,595	4,750,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	1,103,436	2,658,268	1,380,509	1,782,595	4,750,000	
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	20.00	47.00	25.00	32.00	99.00	
D （ ）	活動指標	林道現場確認調査	目標	回	14	14	14
			実績	回	12	12	14
		達成率	%	85.71	85.71	85.71	100.00
		目標	-				
O （ ）	成果指標	予防、復旧路線	目標	本	15	15	15
			実績	本	4	11	7
		達成率	%	26.67	73.33	33.33	46.67
		目標	-				
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考	予算科目名称 (H26林道維持管理費、H27林道管理事業費) 災害発生のため、H27年度予算には当初予算の他災害復旧費との合算。成果指標の復旧路線数に災害復旧路線を包含						

事務事業名	林道維持管理事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	05010202
担当部署	産業経済部	農林課	林務係	作成担当者名	梯 泰 弘	連絡先	405

期	目 標	実 績	課 題
第1期	起点標識の点検及び取り換えの実施	林道点検を実施し、起終点標識の有無の点検の実施	林道猿ヶ入線において、法面崩壊箇所への対応
第2期	起点標識の点検及び取り換えの実施 林道猿ヶ入線の事故防止対策	林道猿ヶ入線に落石注意の看板を設置し注意喚起を行った。 次年度の改修工事の実施に伴い、コンサルと対応策の検討を行った。	林道猿ヶ入線において、法面崩壊箇所への対応
第3期	林道内危険個所の点検・監視	林道猿ヶ入線落石被害防止のための工法の検討 林道山の神線法面崩壊箇所工事の実施	林道及び作業道開設に伴う支援の検討
第4期	林道内危険個所の点検・監視	林道点検を実施し、起終点標識の有無の点検の実施	林道及び作業道開設に伴う支援の検討

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 林道猿ヶ入線の法面から落石の恐れがあるためH30年度において、落石被害防止工事を実施したい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					レ 3	B
課題	<p>本来市で行うべきであるが、現状は関係する地元の財産区及び林野組合にお願いして実施している。財産区等は主たる受益者ではあるが、今後とも継続して実施できるかどうか不透明である。一方市側の人的資源が削減されたことにより、従前にも増して対応しきれないことが課題。</p>																				
前年度総合評価判定																					
前年度評価シート整理番号	04020208																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	森林整備や森林保全のため、林道等の維持管理は、欠かすことができない。そのため、本事業は継続して行う必要がある。											森林整備や森林保全のため、林道等の維持管理は、欠かすことができない。そのため、本事業は継続して行う必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況											前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後																																
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦	レ	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止		①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充					レ	現 状 維 持					縮 小				休 廃 止				
職員数は削減されたが、林道等に係る必要な現状把握を行うように努める。また、修繕が必要な場合は、早期着工・しゅん工を目指す。											職員数は削減されたが、林道等に係る現状把握を行うように努める。また、修繕が必要な場合は、早期着工・しゅん工を目指す。																																

最終評価年月日	平成30年4月11日	最終評価責任者	農林課長	宮坂 智一
---------	------------	---------	------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	治山事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05010203
担当部署	産業経済部		農林課		林務係	作成担当者名	鎌倉亮
						連絡先	405

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	04	第4章	住みやすく、働きやすく、訪れてみたい緑のまちづくり							
				施策	02	第2節	林業の振興							
				細施策	05		治山							
				事務事業	01		災害防止事業							
	予算事業名	治山事業費			会計コード	001	款	06	項	02	目	02	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保安林指定された災害のおそれのある危険個所の予防対策工事及び小規模工事で災害としての対象外の復旧工事、また県施工の治山工事の付帯的工事を行い、市民の安全を図る。												
	現状と背景 （どうして）	災害のおそれのある危険個所の予防対策工事及び災害によって引き起こされた個所の復旧工事の実施。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	保安林に指定された森林の下流域に住む市民及び森林所有者										
			対象 （直接働きかける）	同上										
			意図 （どんな状態にしたいか）	保安林に指定されている森林で、災害のおそれのある危険個所の事前回避、及び災害個所の早期復旧を行い市民の安全を図る。										
	手段・方法 （どうやって）	関係する地元との協議による危険個所の予防及び災害により引き起こされた個所の復旧工事。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		危険個所、災害個所の把握をする	危険個所、災害個所の調査	回	災害危険箇所調査、区要望調査等				3					
		治山事業として採択されるための必要な調整を行う	地方事務所との調整活動	回	調整会議、現地踏査の回数				4					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		危険個所の予防工事	危険個所の減少	箇所	予防工事箇所数				15					
		保安林に指定された面積	保安林面積（累計）	ha	H24以降に新規に指定された保安林の面積累計				1,400					

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）
			事業費等(a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円				32,400	720,000
	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員 臨時職員	人					
対象者数	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	対象（者）数						
	延利用（者）数(b)						
単位コスト	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	1.00	27.00
活動指標	危険個所、災害個所の調査	目標	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	3
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	地方事務所との調整活動	目標	4	4	4	4	4
		実績	3	3	4	3	4
	達成率	-	75.00	100.00	75.00	100.00	
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
達成率	-	-	-	-	-		
成果指標	危険個所の減少	目標	17	16	15	15	15
		実績	1	1	1	2	15
	達成率	5.88	6.25	6.67	13.33	100.00	
	保安林面積（累計）	目標	80	80	1,345	1,400	1,400
実績		63	114	1,345	1,345	1,345	
達成率	78.75	142.00	100.00	96.07	96.07		
備考	H26年度～28年度は、予算に計上したが、該当となる危険個所調査や小規模工事の実施がなかった。（実績：0件） H27年度に実施した事務事業と予算事業の整合化により、H26までの事務事業、「治山事業」と「保安林指定の推進事業」を統合しました。それに伴い成果指標として挙げていた「災害箇所の復旧」を「保安林指定面積」に変更し、活動指標にも「との調整」を追加しました。						

事務事業名	治山事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05010203
担当部署	産業経済部	農林課	林務係	作成担当者名	鎌倉亮	連絡先	405

期	目 標	実 績	課 題
第1期	治山要望箇所の把握と県に対し要望書の提出	保安林で新たに要望のあった3ヶ所(芹ヶ沢、糸萱1、糸萱2)について、県林務課担当と現場踏査の上要望を行った。	林内の危険箇所の把握と工事の優先順位の決定
第2期	治山要望箇所の把握と県に対し要望書の提出 要望箇所の復旧方法の検討	要望箇所について工法と実施可能な事業の検討を行った。	林内の危険箇所の把握
第3期	治山要望箇所の把握と県に対し要望書の提出 森林所有者からの情報収集	林道猿ヶ入線において支障木伐倒を委託にて行った。	林内の危険箇所の把握
第4期	治山要望箇所の把握と県に対し要望書の提出 森林所有者からの情報収集	新金沢区北側の保安林内の伐採について現場踏査と県に対し要望書の提出を行った。	林内の危険箇所の把握

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
現在把握できている治山要望箇所については、すべて保安林内のため県の林務課へ要望している。来年度は、林道事業で落石被害防止工事を実施する予定があり、林道費が増となっているため、治山事業費を減じている。	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					4					レ	3	B
課題	保安林指定されている危険箇所及び対象外の危険箇所について、すべて事業対象とするのは箇所数が多く困難である。地元との連携を図り情報収集に努める。																
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要																
前年度総合評価判定																	
前年度評価シート整理番号	04020209																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	森林災害を未然に防ぐ上でも、小規模な治山工事は本事業により早期の対応を行う必要がある。なお、大規模な治山事業は、今後も県に要望して対応していきたい。	森林災害を未然に防ぐ上でも、小規模な治山工事は本事業により早期の対応を行う必要がある。なお、大規模な治山事業は、今後も県に要望して対応していきたい。					森林災害を未然に防ぐ上でも、小規模な治山工事は本事業により早期の対応を行う必要がある。なお、大規模な治山事業は、今後も県に要望して対応していきたい。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	森林に対する意識が薄れ、荒れている里山が増加している。荒れた森林は、災害発生の原因になることから、森林整備に係る広報活動を行っていく。	森林に対する意識が薄れ、荒れている里山が増加している。荒れた森林は、災害発生の原因になることから、森林整備に係る広報活動を行っていく。					森林に対する意識が薄れ、荒れている里山が増加している。荒れた森林は、災害発生の原因になることから、森林整備に係る広報活動を行っていく。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止					今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成30年4月11日	最終評価責任者	農林課長	宮坂智一
---------	------------	---------	------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	森林整備事業	事業期間	平成 29 ~ 年度	整理番号	05010204	
担当部署	産業経済部 農林課	林務係	作成担当者名	鎌倉亮	連絡先	405

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	04	第4章 住みやすく、働きやすく、訪れてみたい緑のまちづくり
				施策	02	第2節 林業の振興
				細施策	01	森林の整備
				事務事業		—
	予算事業名	森林整備事業費			会計コード	001 款 06 項 02 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	国内産の木材需要の低迷が続く中、国県の補助対象となった事業のうち対象となるものに市独自の嵩上げ補助を行い、森林所有者や林業事業者の負担軽減を図ることで森林の整備（間伐等）を促進しています。 ・森林造成事業 県の補助（国県補助）対象となった森林に対し除間伐25%、搬出間伐28%以内の市の嵩上げ補助 ・県単間伐事業 自力により実施した間伐等に対し市の嵩上げ補助30%				
	現状と背景 （どうして）	木材需要の低迷により、森林保全への意識が薄れ、森林整備が進まず放置森林化した森林が増えてきた。しかし、これらの森林は水源の涵養、防災、多様な生態系の維持など公益的機能を有している。これら公益的機能を保持すること、また向上させるために、間伐を中心にした健全な森林作りが重要な課題となっているから。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	森林所有者、林業事業者及び流域住民			
		対象 （直接働きかける）	・森林所有者より委託を受けて徐間伐・枝打ち等の森林整備を行おうとする、又は行った事業主体（森林組合等） ・自力により間伐・枝打ち等の森林整備を行おうとする、又は行った森林所有者			
		意図	放置化され荒廃した森林の整備が行われ、公益的機能が十分に発揮できる健全な森林状態になっていること			
	手段・方法 （どうやって）	森林組合等の事業主体及び森林所有者に対し、積極的に間伐推進に関する情報提供を行うと共に、森林簿や現況を参考に森林造成事業に係る計画の作成支援を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		森林整備に関する情報の提供	広報への掲載、地区説明会	回		9
		森林に関する講習会・教室の実施	講習会・教室の実施	回		2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		年間実施目標に対して間伐を実施した面積	森林整備面積	ha	当年度森林整備実施面積／当年度森林整備目標面積	150

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）		
			事業費等 (a)	円	13,233,200	13,800,100	6,988,600	7,976,120	20,663,000
財源内訳	国庫支出金	円							
	県支出金	円	1,970,000	2,446,000	2,521,000	2,109,000	1,936,000		
	地方債	円							
	その他特定財源	円							
職員数	一般財源	円	11,263,200	11,354,100	4,447,600	5,867,120	18,727,000		
	正規職員	人	0.60	0.60	0.75	0.50	0.50		
	嘱託職員 臨時職員 合計	人				0.20	0.20		
状況	対象（者）数								
	延利用（者）数 (b)								
状況	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
	受益者負担額	円							
O （ ）	活動指標	広報への掲載、地区説明会	目標	回	9	9	9	9	
			実績	回	6	6	5	15	
		達成率	%	66.67	66.67	55.56	166.67	100.00	
		講習会・教室の実施	目標	回	2	2	2	2	4
			実績	回	2	2	2	2	4
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	森林教室参加回数	目標	回	2	2	2	2	2	
		実績	回	2	2	3	3	2	
	達成率	%	100.00	100.00	150.00	150.00	100.00		
	成果指標	森林整備面積	目標	ha	150	150	150	130	
			実績	ha	113	124	60	67	
		達成率	%	75.33	82.67	40.00	44.67	100.00	
—		目標	—						
実績	—								
達成率	%	—	—	—	—	—			
備考	H26以前の事業費（一般事業費のうち里山集約化を除く）とH27以降の事業費（森林整備事業費すべて）の捉え方が変更となっています。成果指標の森林整備面積は、国県補助を受けて施業された箇所の面積合計で、単独で整備された面積は含めていません								

事務事業名	森林整備事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	05010204
担当部署	産業経済部	農林課	林務係	作成担当者名	鎌倉亮	連絡先	405

期	目標	実績	課題
第1期	・森林整備の未実施箇所を把握し、里山を中心に整備必要箇所及び鳥獣被害の多い箇所の抽出を行い関係地区へ外向き説明会を行う。	森林税を活用した里山整備を行うにあたり、地元への説明会を実施した。(計2地区) 新規事業となる修景林間整備事業の需要をアンケート調査により確認	新規事業となる修景林間整備事業の運用方針案の確立
第2期	・森林整備の未実施箇所を把握し、里山を中心に整備必要箇所及び鳥獣被害の多い箇所の抽出を行い関係地区へ外向き説明会を行う。	森林税を活用した里山整備を行うにあたり、地元への説明会を実施した。(計3地区) 新規事業となる修景林間整備事業の運用方針決定	新規事業となる修景林間整備事業の要綱整備
第3期	新規事業となる修景林間整備事業の要綱整備 また、実施可能地区の把握	新規事業となる修景林間整備事業の実施要望地区を把握 県及び国の補助金を受けて行う森林整備事業の嵩上げ補助手続(2地区)	新規事業となる修景林間整備実施可能地区の詳細な数量の把握
第4期	新規事業となる修景林間整備実施可能地区の詳細な数量の把握 県及び国の補助金を受けて行う森林整備事業の嵩上げ補助手続	新規事業となる修景林間整備事業の実施要望地区の詳細な数量の把握 県及び国の補助金を受けて行う森林整備事業の嵩上げ補助手続(6地区)	新規の修景林間整備事業の市民周知と運用方法の詳細の検討

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
林地台帳の整備をH30年度中に行いたいため、これに伴うパソコン等の導入 新規事業として、景観形成等の目的による森林整備を行ってきたい	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>木材需要の低迷及び短期的な経済性優先といった風潮もあり、投入した資源に対し即効果が見えない森林への手入れの重要性は理解しつつも、実行に至りにくく、森林整備が進まず放置森林化した森林が増えていること。</p> <p>所有者が「これくらいの負担なら山の手入れをしよう」と、その気にさせる状態を作り出すこと(広報活動、地区説明会等)が重要であるが、担い手などの人的資源の不足もある。</p> <p>また、この補助事業は、事後申請であることから予算措置を行う時点での事業量の把握が困難であり、補助金額を大幅に増額し事業量を増やすことも国・県の予算上難しい状況となっていること。</p> <p>また、森林整備は、成木として成果が得られるまでに70年～150年という長期にわたるものを対象とする事業であり、そういった事業を単年、さらには数か月という短期的視点で評価を行うことが妥当であるか疑</p>															
CHICK	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					前年度総合評価判定		A			
CHICK	森林の持つ公益的機能が十分に発揮され、かつ持続可能な森林形態を維持する上では、当事業によって森林所有者や林業事業者へのインセンティブが必要です。					森林の持つ公益的機能が十分に発揮され、かつ持続可能な森林形態を維持する上では、当事業によって森林所有者や林業事業者へのインセンティブが必要です。					前年度評価シート整理番号		04020219			

評 価 観 点	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定
CHICK					4					4
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況					実施済				
CHICK	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定
今 後 の 方 向 性					4					4
改 革 ・ 改 善 策	森林税事業の導入、また直接交付制度の活用などにより、森林整備面積を前年度比で拡大します。					林地台帳整備関連経費が減となるため。 Δ4,760千円				

最終評価年月日	平成30年4月11日	最終評価責任者	農林課長	宮坂智一
---------	------------	---------	------	------